

防災情報でいち早く災害から身を守る

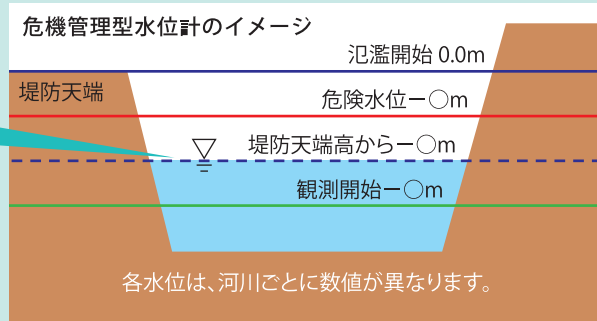
ナックス 長崎県河川砂防情報システム (NAKSS)

河川の水位や雨量情報等をパソコンやスマートフォンなどで確認できます。新たに危機管理型水位計※を181箇所へ増設し(県内93カ所→274カ所)、以前よりもさらに広範囲で河川の水位情報を確認できるようになりました。

※「危機管理型水位計」とは、洪水時の観測に特化した小型の水位計です。

現在の水位を「堤防天端(堤防の最上面)から-〇m」と表現しています

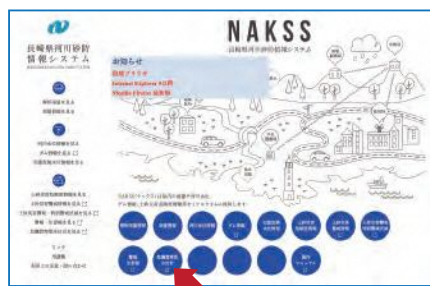
水位が上昇し、各河川ごとに設定している危険水位に近づくほど氾濫の恐れが大きいことを表します。気象情報や市町が出す避難勧告等の防災情報も踏まえて、早めの避難をお願いします。



水位の確認の手順

長崎県ナックス 検索

①「危機管理型水位計」を選ぶ(🔍をクリック)



②地図上で見たい地域を選ぶ



③見たい箇所を選ぶ(📍をクリック) ④「観測値一覧」を選ぶ(📊をクリック) ⑤詳細な数値を確認する



県が提供する その他の 防災情報

- 長崎県電子国土総合防災GIS [長崎県総合防災GIS](#) 検索
避難所や土砂災害警戒区域等を地図上で確認できます。
- 土砂災害警戒情報配信メール [長崎県 土砂災害警戒情報携帯メール](#) 検索
土砂災害の危険度が高まった時に発表される土砂災害警戒情報をメールでお知らせします。登録は、bousai.nagasaki-pref@raidan.ktaiwork.jp または QRコードから空メールを送信

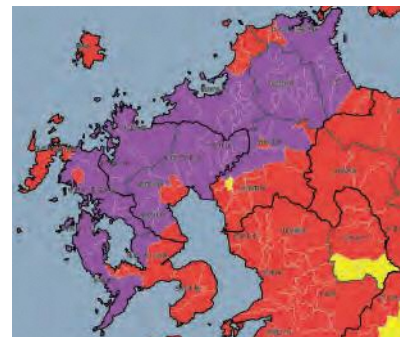


問合せ 県の河川課 ☎095-823-3280 [長崎県河川課](#) 検索
県の砂防課 ☎095-894-3076 [長崎県砂防課](#) 検索

特集 special issue

災害を防ぎ、災害に備える

大雨や台風、地震などによる自然災害は、いつどこで起きるかわかりません。こうした災害に備えて県が進めている対策や取り組みを紹介します。



平成30年7月6日17時20分時点の大雨特別警報の発表状況(気象庁HPより)
■ 大雨特別警報 ■ 大雨警報 ■ 大雨注意報



平成30年7月6日の相浦川(佐世保市)

平成30年7月豪雨では、広島県や岡山県を中心に死者・行方不明者が230名に上りました。国内で水害による犠牲者が200名を超えたのは、昭和57年の長崎大水害以来です。また、本県でも、初となる大雨特別警報が発表され、佐世保市を流れる相浦川、早岐川では氾濫危険水位を超え、避難指示も出されました。

県では、こうした自然災害による被害を防ぐため、河川の氾濫や土石流を防止するための施設を整備するとともに、危険箇所の事前周知や現状の河川水位・雨量などの情報提供を行っています。

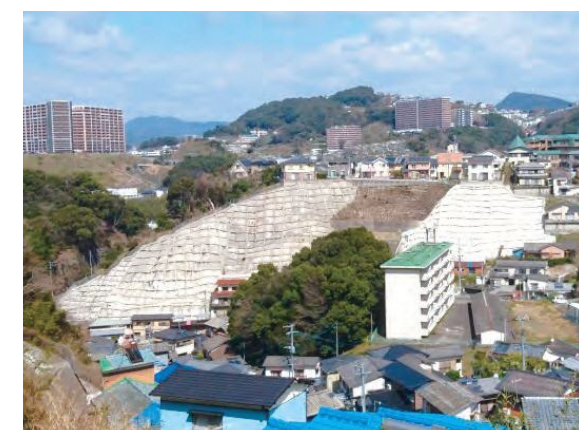
施設整備による防災対策

洪水被害を防ぐため、河川改修やダム建設などの最適な組み合わせによる治水事業を進めています。また、土砂災害に対しては、土石流や地すべり、崖崩れを防止するための対策工事を進めています。



石木ダム建設事業(川棚町)

川棚川の洪水被害の軽減と佐世保市の安定水源の確保を目的とした事業です。昭和20年以降、大雨により4回氾濫し、その度に周辺地域に洪水被害をもたらした川棚川において、概ね100年に一度の大雨に備えるために必要不可欠なダムです。現在は早期完成に向け、付替県道工事など事業推進に努めています。



えびすのわき 我ノ脇地区急傾斜地崩壊対策事業(長崎市)

大雨によって引き起こされる土石流や地滑り、崖崩れは、人命や暮らしに大きな被害を及ぼします。そのため、崖崩れ防止のための斜面対策など、地域の特性や危険性に応じた対策を進めています。

日頃の備えが一人一人の身を守る

自分や大切な人の命を守るために、日頃から災害に備えておくことが大切です。
できることからすぐ始めましょう！

自分や家族でできる備え

- 家族で3日分の食料や飲料水、懐中電灯など非常用備蓄品の準備
- 住んでいる地域の危険箇所や避難場所の確認
- 住んでいる地域をはじめ、市町が行う避難訓練や研修への参加
- 家具の転倒に備えて、固定方法や配置場所の見直し

防災に役立つ情報

- 長崎県総合防災ポータル
災害に関する情報や災害への備えなどの情報をまとめたホームページです。
※その他、長崎県河川砂防情報システム (NAKSS) や長崎県電子国土総合防災GISと合わせてご活用ください (P.5参照)

いざという時のための準備をしておきましょうね！



地域防災の要「消防団」



県消防ポンプ操法大会の様子(島原市消防団)

県内には、各市町に21の消防団があり、19,738人(平成30年4月1日現在)の方が団員として活動しています。
消防団の役割は、火災発生時の消火活動はもちろんのこと、行方不明者の捜索や大雨の際の災害警戒の見回りなど、地域の身近な存在として日頃から重要な役割を担っています。
しかし、人口減少や少子高齢化等の影響で、本県を含め全国的に消防団の団員数が年々減少しており、地域防災力の低下が懸念されています。
県では、消防団が活動しやすい環境づくりや、女性、若者の加入も促す取り組みにより、安全・安心で暮らしやすい長崎県づくりを進めています。

入団や活動内容はこちら

各市町消防団窓口または
県の消防保安室 ☎095-895-2146

ながさきの消防団 検索

皆さんの入団、待っとるばい！



地域の力「自主防災組織」で災害に備える

自主防災組織とは

大規模な災害が発生した場合、消防や警察などの行政機関だけでは避難活動などに十分に対応できない可能性があります。そこで、大きな力を発揮するのが、地域コミュニティによる防災活動です。
自分たちの地域を自分たちで守るため、自主防災組織の活動などに積極的に参加しましょう。

自主防災組織の役割

- 平常時
● 防災知識の普及
● 防災訓練
● 地域内の安全点検など
- 災害発生時
● 初期消火
● 避難誘導、避難所運営
● 情報の収集・伝達など



長崎県防災推進員(自主防災リーダー)養成講座

無料

毎年、県内各地で開催しています。防災に関する正しい知識や技術を身に付け、地域や職場の防災力の向上に生かしませんか。

◎佐世保会場

- と き / 10月20日(日)、26日(土)、27日(日)
- と ころ / 広田地区公民館(佐世保市重尾町)

◎五島会場

- と き / 11月23日(土・祝)、24日(日)、30日(土)
- と ころ / 五島市消防本部(五島市吉久木町)

※申込方法など詳しくはホームページをご覧ください

長崎県防災推進員 検索

自主防災組織(事例紹介)

花高四丁目1組自主防災会(佐世保市)の取り組み

代表 山口 脩さん



「地域のためにできること」を合言葉に、防災マップの作成、水害防止のための側溝の清掃、年末夜回りでの防火活動などを行っています。
特に力を入れているのが、災害発生時に避難が完了した目印として各家庭の玄関付近に黄色いハンカチを掲げる取り組みで、自主防災避難訓練の際にも取り入れています。
また、一人暮らしの高齢者が多い地区では、逃げ遅れを防ぐことが大切です。そこで、5〜6世帯で1つのグループを作り、リーダーを決め、声を掛け合って避難できるように備えています。そのほか、各家庭を巡回して火災報知機や消火器の点検を呼びかけるなど、地域の顔なじみだからこそのことができるがあります。
こうした一つの活動の積み重ねが、町内の防災意識の向上につながると考えています。